

熟語の構成・熟字訓

P.48~49



- 熟語をつくっている漢字の意味を考え、構成を捉えられるようにする。
- 熟字訓について理解し、正しく読めるようにする。

二字熟語の構成

- 1 主語と述語の関係になっているもの
 例 雷鳴…雷が↓鳴る 船出…船が↓出る
- 2 反対の意味をもつもの
 例 長短…長い↕短い 慶弔…慶事↕弔事
- 3 似た意味をもつもの
 例 創造…創る+造る 豊富…豊か+富む
- 4 あとの漢字が、前の漢字の目的（…を）や対象（…に）を表すもの
 例 洗顔…洗う↑顔を 登山…登る↑山に
- 5 前の漢字があとの漢字を修飾するもの
 例 曲線…曲がった↓線 急行…急いで↓行く
- 6 そのほか
 ・ 同じ漢字を繰り返したものの（疊語）
 例 堂々
 ・ 前の漢字が打ち消しの意味を表すもの
 例 未知
 ・ 補助的な意味を前やあとにつけたもの
 例 貴校
 ・ 長い熟語が省略されたもの
 例 特急⇨特別急行

1 次の二字熟語の構成を、あとの□から選ぼう。

⑦	⑤	③	①
頭痛	続々	敬語	負傷
⑧	⑥	④	②
天性	不満	明暗	調整

- ア 主語と述語の関係になっているもの
- イ 反対の意味をもつもの
- ウ 似た意味をもつもの
- エ あとの漢字が、前の漢字の目的や対象を表すもの
- オ 前の漢字があとの漢字を修飾するもの
- カ 同じ漢字を繰り返したものの
- キ 前の漢字が打ち消しの意味を表すもの
- ク 補助的な意味を前やあとにつけたもの

2 次の二字熟語と同じ構成の熟語を、あとの□から選ぼう。

⑦ 劇的	⑤ 歓声	③ 切断	① 人造
⑧ 人々	⑥ 図工	④ 帰郷	② 終始

3 次の□に、打ち消しの意味を表す漢字をあとの□から選んで書き入れ、二字熟語を完成させよう。

ア 国連	イ 紅白	ウ 美化	エ 道路
オ 親友	カ 求人	キ 転々	ク 氷解

④ 熟	① 足
⑤ 番	② 視
	③ 認

非 否 無 未 不

4 次のA～Fには、真ん中の漢字とア～エの関係になる漢字が入ります。あてはまる漢字を□から選んで書こう。

ア 主語と述語の関係になっているもの
 イ 反対の意味をもつもの
 ウ 似た意味をもつもの
 エ 前の漢字が打ち消しの意味を表すもの

② D	① A
↓ ア	+ ウ
没	開
+ ウ	↓ イ
F	C

E B C D F A

閉 日 落 未 頭 展 封 出

熟字訓

…漢字一字ずつの読みではなく、漢字の組み合わせ全体に対して、一つの訓読み（和語）を当てたもの。

例 紅葉

× 紅^{もみじ}葉^{もみじ}

紅^{もみ}葉^じ

↓ 一字ずつの読み

○ 紅^{もみじ}葉^{もみじ}

↓ 熟語全体の読み

その他の例

小豆（あずき）

土産（みやげ）

足袋（たび）

二十歳（はたち）

吹雪（ふぶき）

など

今日（きょう／こんにち）、二十歳（はたち／にじゅっさい）など、熟字訓と熟字訓以外の二通りの読みがある熟語もあるよ。注意してね。



きょう



1 次の——線部の熟字訓の読み方をひらがなで書こう。

① 祭りの山車^{やまぐるま}を眺める。

② 旅行によい日和^{ひより}となる。

③ 昔の名残^{なごり}をとどめる町並み。

④ 木綿^{きわた}でできた洋服を着る。

⑤ 大規模な雪崩^{ゆきだまり}が起きる。

⑥ 蚊帳^{ぶんじょう}の中で眠る。

⑦ 郵便為替^{ゆうびんがひき}で送金する。

⑧ 竹刀^{たけとう}を振って剣道の練習をする。

⑨ 相撲^{すもう}の試合をテレビで見る。

③は「名残惜^おしい」、④は「木綿豆腐」などの使い方があるよ。
教 323ページの「常用漢字表付表」も見
てみよう。



2 次の——線部の熟字訓を漢字で書こう。

① さみだれが降り続く。

② 彼女はまさにやまとなでしこだ。

③ かわらでバーベキューを楽しむ。

④ 兄は、まじめな性格だ。

⑤ 陰暦の三月をやよいという。

⑥ いくじのない態度をとる。

⑦ おとな顔負けの知識。

⑧ かぐらの舞手に選ばれる。

②「やまと」は「日本国」の古い言い方、⑧「かぐら」は神をまつるときに行つ、日本の伝統的な音楽や舞だよ。



3 次の熟語には、複数の読み方があります。それぞれの——線部に合う読み方をひらがなで書こう。

(1) 二人 ① 姉と二人で出かける。
② 二人三脚で走る。

(2) 梅雨 ① 梅雨前線が停滞している。
② 日本各地が梅雨入りした。

(3) 紅葉 ① 美しく紅葉した山。
② 紅葉狩りに出かける。

(4) 下手 ① 下手の横好き。
② 舞台の下手にはける。

(5) 仮名 ① 仮名と漢字が交じった文。
② 仮名でテレビに出演する。